

# 新型コロナウイルス感染リスク低減のための特別支援学校スクールバス増車に係る財政支援

【担当省庁】文部科学省



スクールバス内の感染症への不安を軽減し安心して通学できる環境整備を行うため、増車について要望通り交付決定いただきお礼申し上げます。

## 奈良県における取組

### 1. 現状

○スクールバス運行台数36台（※県内全特別支援学校10校中9校で運行）

○スクールバスの平均乗車率 **81%**

（※肢体不自由特別支援学校及び盲学校のスクールバスは除く）

学校	乗車率
A校	89%
B校	78%
C校	79%
D校	83%
E校	74%
F校	92%
<b>平均乗車率</b>	<b>81%</b>

○特別支援学校のスクールバスの車内は、幼児児童生徒の安全面から**換気を行うことが困難**である。

○平均乗車率が81%で、「**三密**」状態が避けられない。

○新型コロナウイルスに罹患すると**重症化するリスクの高い基礎疾患等のある児童生徒が複数名乗車**している。

基礎疾患等のある児童生徒数及びその割合（※肢体不自由特別支援学校、盲学校を除く）

在籍者数	基礎疾患等のある児童生徒数	割合
1035人	233人	<b>22.5%</b>

○個々の障害の状態によっては、**マスクを着用したり、会話を控えたりすることが困難**な場合がある。

## 2. 奈良県の取組

○感染リスク低減のためスクールバスを増車

(※学校保健特別対策事業費補助金 特別支援学校等スクールバス感染症対策支援事業の申請)

増車台数 7台

増車期間 令和2年7月6日～3月19日

増車後の乗車率 64%  
(81% → 64%)

○スクールバス車内の抗菌加工 (令和2年12月施行)

○乗車予定の児童生徒の検温及び風邪症状の有無等の確認の徹底

○運行前もしくは運行後の車内の消毒の実施

○児童生徒の安全を確保した上で、運転席の窓を開けたり、停車時に車内の窓を開けたりするなどの換気

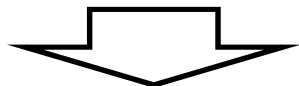
## 3. 今後の動向、課題

○新型コロナウイルス感染症の終息は予測不能

○3年度以降も感染リスク低減のため増車が必要  
増車検討台数 7台

## 国にお願いすること

新しい生活様式を踏まえた、スクールバス内における3つの密を避けることが求められる。



○スクールバス内の密を避けるため、スクールバス増車に係る財政支援をお願いしたい。

- ・スクールバス購入を含めた補助対象の拡充
- ・コロナウイルス感染症収束までの補助対象期間の延長